

## 1. 調査概要

- (1) 調査区域 函館市の行政区域内（別添「函館市域一般交通量調査観測箇所図」参照）
- (2) 調査日 平成18年10月4日（水曜日） 午前7：00～午後7：00までの12時間
- (3) 調査日の天候 晴れ 最高気温21.6℃ 最低気温11.5℃ 平均気温16.5℃
- (4) 調査内容 市内に存する幹線・補助幹線道路を対象に，188箇所の調査地点（調査地点については，別添「函館市域一般交通量調査観測箇所図」参照）を通過する車両等を方向別に1時間毎に，12時間観測調査を行った。また，併せて，道路現況調査として，調査地点の道路幅員，用途地域等の調査も行った。
- (5) 車両分類 通行車両等は，次に従い分類して観測した。
- ・ 歩行者類，自転車類，動力付き二輪車類の分類はその形態によった。
  - ・ 自動車類の分類は主としてナンバープレートの分類番号によった。
  - ・ 自衛隊車両および外交官用車両等の独自の番号を付しているものについては，その形態により下表の各車種に分類した。

種	別	単位	分類	番号	備考
歩行者類		人			隊列，葬列は除く
自転車類		台			車いす，小児用の車を除く
動力付き二輪車類		台			自動二輪車，原動機付自転車
自動車類	乗用車類	乗用車	台	ナンバー5（黄と黒のプレート） ナンバー3、8（小型プレート） ナンバー3、5、7	
		バス	台	ナンバー2	
	貨物車類	軽貨物車	台	ナンバー4（黄と黒のプレート） ナンバー3、6（小型プレート） ナンバー4、6	
		普通貨物車	台	ナンバー1 ナンバー8、9、0	

## 2. 箇所別基本表の利用にあたって

交通量調査および道路現況調査の結果は、「平成18年度 函館市域一般交通量調査箇所別基本表」（以下「箇所別基本表」という。）に示すとおりであるが、国道、道道のうち、次頁に示す調査地点番号の結果については、平成17年10月19日に北海道開発局および北海道が実施した「全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）の一般交通量調査」の結果等（以下「センサス結果等」という。計50箇所：5頁）を引用した。  
なお、箇所別基本表に示す各項目の内容は以下に示す通りである。

### ① 道路種別

調査地点の道路種別を次の区分により分類した。

道路種別	凡例
国道	国
道道	道
市道	市

### ② 路線名

路線名は都市計画道路については都市計画において決定し告示された名称とし、それ以外については政令、告示等による正式な路線名を記入した。

### ③ 調査地点

調査地点は、調査地点の存する町名と調査地点付近に調査日現在に現存する建物、または住居表示を記入した。

### ④ 調査地点番号

調査地点番号は、平成10年度函館市域交通量調査における調査地点番号を踏襲し、さらに本調査で追加した調査地点は連続する番号を付した。  
なお、それら以外でセンサス結果等がある地点について9000番台を付している。

### ⑤ 整備状況

路線全線の用地買収および支障物件移転が完了している場合に「○」を付している。

### ⑥ ピーク時間交通量

交通量が最も大きい時間帯（ピーク時間）における交通量である。

### ⑦ ピーク比率

ピーク比率＝（ピーク時間交通量／12時間交通量）×100（％）

### ⑧ 昼間ピーク時間重方向率

（上り） 昼間ピーク時間重方向率＝（上りピーク時間交通量／上記時間帯の上り・下り合計交通量）×100（％）

（下り） 昼間ピーク時間重方向率＝（下りピーク時間交通量／上記時間帯の上り・下り合計交通量）×100（％）

なお、上り下りの別は、都市計画道路の起終点を基準に、終点から起点方向を上りとし、起点から終点方向を下りとした。

### ⑨ 12時間自動車類交通量

午前7時から午後7時（12時間）の間に観測した自動車類の観測結果である。

- ⑩ 12時間交通量伸び率  
12時間交通量伸び率＝（平成18年度12時間交通量／平成10年度12時間交通量）×100(%)
- ⑪ 大型車混入率  
大型車混入率＝（大型車12時間交通量／12時間交通量）×100(%)  
ここで、大型車12時間交通量とは、バス、普通貨物車に分類される車両の12時間交通量を合計したものである。
- ⑫ 自動車類24時間交通量  
自動車類24時間交通量＝自動車類12時間交通量×昼夜率1.24  
昼夜率は平成17年度全国道路交通情勢調査（道路交通センサス）における函館市の市街化区域内の平均昼夜率である。  
ただし、道路交通センサスの結果等で、24時間観測値がある場合はそれを記入した。